

## 令和4年度 学校評価（自己評価・学校運営協議会評価）に係る評価項目（学校評価書）

\* A:よく当てはまる B:ほぼ当てはまる C:あまり当てはまらない D:まったく当てはまらない

分野（目標）	評価対象項目	自己評価		学校運営協議会評価項目	評価
1 学校運営全般	(1)教育目標や方針・重点目標等はわかりやすく適切である。	B	B	学校運営全般が適切に行われているか。	A
	(2)学校運営は適切に行われている。	B			
	(3)取り組むべき教育課題に対して改革・改善を進めている。	A			
2 当たり前のことが当たり前出来る生徒の育成	(1)生徒・保護者との「当たり前」の共有を図り、基本的生活習慣（挨拶・服装・時間厳守等）の確立に関してきちんと指導している。	A	A	当たり前のことが当たり前前にできる生徒の育成は行われているか。	A
	(2)わかる・できる授業を実践し、基礎学力の定着・向上を図っている。	B			
	(3)主体的・対話的で深い学びに繋がる授業の研究・実践を行い、教科指導力の向上を図っている。	A			
	(4)朝読書の活用等、読書活動を推進している。	A			
	(5)支援委員会の機能向上を図り、特別な支援が必要な生徒に適切な教育活動を行っている。	A			
	(6)多様な進路希望に対して、個に応じた指導を行っている。	A			
3 地域貢献の推進	(1)「総合的な学習（または探究）の時間」「遊佐の自然と文化」など地域の特色を生かした教育活動を進めている。	A	A	地域と連携した教育活動が展開され、地域貢献が行われているか。	A
	(2)インターンシップや企業開拓など進路実現に向けた連携を図っている。	A			
	(3)ボランティア活動の充実に努めている。	A			
	(4)かわら版やホームページ等により教育活動の理解につながる広報活動を行っている。	B			
	(5)教職員は、生徒・保護者・地域住民に対して誠意を持って接している。	A			
4 魅力ある学校づくりへの適切な対応	(1)魅力ある総合学科にする教育活動の実践と研究を行っている。	B	B	魅力ある総合学科に向けた取組みが適切に行われているか。	B
	(2)「産業社会と人間」の取り組みなどキャリア教育の充実に図り、1年次から進路目標の早期確立に努めている。	B			
	(3)学校の特色を踏まえ、学校設定科目の内容充実に努めている。	B			
	(4)1学級規模での特別活動の充実及び学校組織の整備を図っている。	B			

評価項目に係る  
主な意見・要望等

- 重点目標の「当たり前前の方が当たり前前できる生徒の育成」この目標が設定された頃をよく知っていますが、その当時と比べると今の生徒たちはそれがきちんとできていると思います。
- 生徒と教員の距離が近く、共に学び、活動している雰囲気がある。地域に貢献する取り組みも積極的に行われており、地域の良い点を活かした独自の教育事業が展開されていると感じている。
- 郷土の自然や文化についての教育活動の取り組みが、生徒・教職員・地域住民が参加して、ほぼ一貫して行われていると感じます。
- 遊佐高校の内外それぞれに向けての取り組みは、年々大きく魅力的なものへと成長していると感じております。これからも生徒の自主性を大切にし、新しいことへ挑戦し続ける姿勢を保ち続けてほしいと思います。
- デュアル実践など、他校にはできないような取り組みが更に発展し、全国の模範となるように育っていくことを願っています。
- 遊佐高通信、HP、おたよりなど外へ向けて情報発信も一生懸命ですばらしいと思っています。いつも拝見するのを楽しみにしています。